

大阪府立北野高等学校 令和2年度 第2回 学校運営協議会 議事録(抄)

1. 日時：令和2年11月12日(木) 15:10~16:00 (於：校長室)

2. 次第：

(ア) 校長挨拶

(イ) 事務局より取組の報告と協議・意見交流

(○：学校運営協議委員 ●：事務局員)

(ア) 校長挨拶

今年度の夏は、コロナウイルスの影響により休暇がお盆の一週間しかなかった上、記録的な猛暑にも見舞われ、生徒と教員の疲労がたまりやすい夏だった。そのため、冷房の設定温度を低く、稼働時間を長くすることで対応した。不安を抱える生徒が例年より多く、保護者やスクールカウンセラーと連携して対応している。日頃の生徒への声掛けや観察を丁寧に行うよう、先生方には伝えている。

学校行事は、六稜祭が中止になった。水泳大会と体育大会では密になる種目や場面をなくすよう工夫し、実施した。学校行事は友人とのつながりを深め、自己肯定感を高める機会なので、実施したい。文芸祭と2年の修学旅行も、コロナウイルス感染防止の対策に細心の注意をはらい実施したいと考えている。

大学入学試験は、今年度より共通テストが実施される。本校3年生は全員が第一日程に受験する。日常を取り戻し、頑張っている。

広報としては、朝日新聞社 EduA の取材で本校の教育活動が記事になる予定。また、BSテレビ東京の番組「THE 名門校」では校内の授業の様子、歴史、施設、部活動などが紹介される予定である。

(イ) 事務局より取組の報告と協議・意見交流

●教頭より

授業アンケートデータ比較

●教務部より

教科書選定について、新カリキュラムについて

<ご意見及び質疑応答>

○教科書選定は昨年からの変更点はあるか？

●特に変更点はないが、例年通り適正な選定が行われた。

●首席より

WWLの取り組みについて

●進路部より

共通テストの出願完了、東京阪神の志望者数は例年並み

●生徒指導部より

コロナ禍での学校行事の開催について 水泳大会、体育大会は感染防止対策を講じ実施できた。文芸祭や断郊競走もできるだけ挑戦させたい。生徒は日常を取り戻し、授業、部活、行事と積極的に取り組んでいる。

<各委員より提言>

- WWLのテーマが「健康・医療」「幸福」に関することであり、課題研究もそれをテーマにしたものが多かった。今までに比べ目的がはっきりしており、生徒の意欲も感じた。発表に関しては、一番強調したいところとそうでないところのコントラストを出すよ。コロナ禍にも関わらず、教員がフォローしつつ、生徒もそれにしっかりついていき、いつも通りの機能に戻りつつある。

- 大学は実験などを除いて、対面授業がないので生徒が教室に集まって授業を受けている風景は新鮮に感じた。学生の中には対面授業よりも遠隔授業のほうが良いと感じている者もいる。例えば、国際会議やインターンなどがオンラインで行われるようになり、気軽に海外と交流できるようになった。このような状況を逆手に取って海外との交流を増やしていけるとよい。

- 今年の2月に初めて課題研究の発表を見て、もう少し教員の助言があったほうが良いものも見受けられた。生徒の自主性を尊重するが、教員の関わり方も考えなければならない。

- 課題研究に関しては、日常で抱いた疑問に対して様々なテーマを設定して、課題解決に向けて取り組むことができている。生徒が設定した目標に対して、教師がどのようにアプローチできるか。自校では生徒指導の徹底や、クラブ活動の活性化を行うことで目的意識を持てるような学力の育成を目指している。

- 保護者の視点で生徒の様子を観察したが、調べ学習の際にスマートフォンを利用している生徒が多く見受けられた。インターネットからの情報のみで正しい情報を選ぶことができているのかは不安である。図書館にある書物から、自分の得たい知識を得る大切さも学んでほしい。

学校への意見書：なし